

科目名			歴史総合	学年	普通科				必／選	単位数	
				2	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	2	
					国文	理進					
					○	○	○	○			
学 習 目 標			【知識・技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める								
			使 用 教 材								
			教科書：明解歴史総合（帝国書院） 副教材：新詳歴史総合（浜島書店）								
			評 価		評価法	定期考査、小テスト、パフォーマンス課題（スピーチ発表、プレゼンテーション、ディベート）、ロイロノート課題、ノート（プリント）、振り返りシート等で評価します。					
					評価観点の趣旨	a	知識・技能	世界と日本の歴史的事象を広く理解し、諸資料から様々な情報を適切に読み取ることができる。			
b	思考・判断・表現	近現代の世界が抱えた様々な課題の原因を多面的・多角的に考察し、解決の手立てを自ら考え、発表することができる。									
c	主体的に学習に取り組む態度	近現代に起こった様々な歴史的事象をもとに、よりよい社会の実現に向けて現代が抱える課題とは何か自ら追求しようとする姿勢を養う。									
		上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。									
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容				評価方法			
								a	b	c	
1学期	4	4	第1部 歴史の扉	・自分たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結びつきがあるのかについて学ぶ。 ・「近代化」とは何なのか、世界各国で起こった様々な「革命」と関連付けながら学ぶ。				中間考査	中間考査		
	5	5	第2部 近代化と私たち 1章 江戸時代の								

評価方法：定期考査と小テストの点数・ロイロノート課題の内容・提出物の状況からそれぞれA～C評価で判断。

令和 7 年度 地理歴史 科

科目名			地理探究	学年	普通科			必／選	単位数	
				2	アドバンス		キャリア	スポーツ	必	2
					国文	理進				
学 習 目 標	【知識・技能】 地理に関わる諸事象に関して，世界の空間的な諸事象の規則性，傾向性や，世界の諸地域の地域的特色や課題などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 【思考・判断・表現力】 地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と 自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，系統地理的，地誌的に，概念などを活用して多面的・多角的に考察したり，地理的な課題の解決に 向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基 に議論したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を 主体的に探究しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い理解を 通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の諸地域 の多様な生活文化を尊重しようとする事の大切さについての自覚などを深める。									
	使 用 教 材									
	教科書：新詳地理探究（帝国書院） 副教材：図説地理資料 世界の諸地域 NOW 2024									
	評 価		評価法	定期考査、小テスト、パフォーマンス課題（スピーチ発表、プレゼンテーション、ディベート）、ロイロノート課題、ノート、振り返りシート等で評価します。						
評価観点の趣旨			a	知識・技能	世界の諸地域や日本の地理的特徴を理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いた調べ学習などを適切に行うことができる。					
			b	思考・判断・表現	各地の地理的特徴と世界が抱える諸問題とを関連付けて考察し，地図やグラフなどから読み取った情報をもとに地理的な課題の解決に向けて自分の意見を発表することができる					
			c	主体的に学習に取り組む態度	地理的な視点から日本を理解することで，日本特有の文化を大切にしようという姿勢を養う。					
上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末および学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評定（1～5の5段階）にまとめます。										
期	月	時数	学習項目・単元	学習内容			評価方法			
	4 5		第1部 現代世界の系統	・地球表面に存在するそれぞれの地形にはどのような特徴があり，人間活動とどのように関わっているのか。			中間 考査	中 間 考査		

1 学 期		12	地理的考察 第1章 自然環境	・気候の違いはどのような要因で生まれ、人々に生活にどのような影響を与えているのか。 ・日本に自然環境にはどのような特徴があり、その特徴は自然災害とどのように関係しているのか。 ・農林水産業の分布や発達には、どのような傾向や規則性がみられるのか。	小テスト	ロイロ課題	提出物
	6	7	第2章 資源と産業	・飽食や飢餓がみられるのは、それぞれどのような地域でその原因とは何なのか。 ・今後、資源エネルギー問題を解決し、持続可能な社会を実現するためには、どのような考え方が必要なのか。	小テスト	パフォーマンス課題	振り返りシート
	7			・交通網や通信網の発達には、なぜ傾向や地域性、地域間格差が現れるのか。			
		8	第3章 交通・通信と観光、貿易	・観光にはどのような特徴や利点があり、どのような課題があるのか。	期末考査		
2 学 期	9	8	第4章 人口、村落・都市	・世界各国の人口分布や年齢別構成、移動には、どのような特徴がみられるのか。 ・世界の都市さらには日本の都市にはどのような課題があり、それらを解決していくために、どのような取り組みが行われているのか。	中間考査	中間考査	
	10	8	第5章 生活文化、民族・宗教	・民族や宗教の独自性はどのようにとらえることができ、各地にみられる民族問題の背景とどのように関わっているのだろうか。	小テスト	ロイロ課題	提出物
	11		第2部 現代世界の地誌	・領域が定められたり、その領域が変更されたりすることで、どのような問題が起こっているのだろうか。	小テスト	パフォーマンス課題	振り返りシート
		8	現代世界の地誌 第1章 現代世界の地域区分	・自然環境、文化、政治、経済などの指標をもとに地域を区分すると、世界はどのように区分できるのか。 ・地域の特徴や他地域との結びつきなどを把握しやすくするためには、どのような区分方法があるのか。	期末考査		
3 学 期	1		第3部 現代世界におけるこれからの日本の国土象	・日本の強みを生かせる将来について考え、持続可能な社会を構築していくには、どのようなことに取り組めばいいのか。	学年末考査	学年末考査	提出物
	2	12	第1章 持続可能な国土	・現代の日本の社会が抱える地理的な諸課題を解決し、持続	小テスト	小テ	振り返りシート

	3		像の探究	可能な社会を目指すためには、どのような国土の在り方が望ましいのか。		スト	ト
担当者からのメッセージ（学習方法など）							
評価方法：定期考査と小テストの点数・ロイロノート課題の内容・提出物の状況からA～C評価で判断。							